



5-029WJB-00-01
日本ペイント株式会社
製品使用説明書

水性ハイボン 20K

規格
一般名称
特長

首都高速道路(株) 鋼橋塗装設計施工要領(2021年10月版) SDK W-513
水性エポキシ樹脂塗料
・環境配慮形塗料です。
・乾燥が速く、作業性にすぐれています。
・塗装作業性が良好です。
・4時間以上の乾燥時間で上塗り塗装が可能な速乾タイプです。(23)
・有害重金属の鉛・クロムを配合していません。
・長期防食性を発揮します。
・水性ですので、人体や環境にやさしく、安心して塗装できます。

塗料性状

		塗料液		硬化剤		
色		N7.0，N8.5		乳白色		
密度(g/cm³)(23)		1.38 (グレー混合塗料)1.57 (グレー塗料液) 1.04(硬化剤))				
光沢		-				
引火点		-		-		
発火点		201 (参考値)		278 (参考値)		
消防法 表 示	化 学 名	水溶性合成樹脂塗料		水溶性合成樹脂塗料		
	危険物区分	非危険物		非危険物		
	危険物等級	- (-)		- (-)		
有機溶剤区分		なし		なし		
毒劇物表示		-		-		
有害物表示		-		エポキシ樹脂		
国連/指 針 番 号		-		-		
環 境 性 能	クロル [®] リス	配合せず	ホルムアルデヒド [®]	配合せず	トルエン	配合せず
	キシレン	配合せず	パラジクロロベンゼン	配合せず	エチルベンゼン	配合せず
	スチレン(モノマー)	配合せず	フタル酸ジ ^{-n-ブチル}	配合せず	テトラカ	配合せず
	フタル酸ジ ^{-2-エチルヘキシル}	配合せず	ダイアゾノ	配合せず	アセトアルデヒド [®]	配合せず
	フェノール [®] カルブ	配合せず	鉛	配合せず		
T V O C		1.9%				

- ・塗料性状に記載の数値は、全て代表的な色相、つやを想定しています。
- ・加熱残分(%) : 55 (グレー混合塗料) 69 (グレー塗料液) 29 (硬化剤)

塗装基準
下地調整:

- ・ブラスト処理(ISO Sa2 1/2以上)後、直接塗装することもできます。
- ・被塗面に付着したダスト・海塩粒子・水分・油そのほかの異質物を清掃し、清浄ケレンしてください。
- ・下塗りの損傷箇所は必ず下塗りでタッチアップしてください。
- ・塗り替え時の素地調整は発錆部・劣化部は2種ケレンを、活膜部はサンドペーパー等で表面調整を行ってください。

混合:
割合:
ポットライフ:
希釈剤:
塗装方法:

2液形のため、「塗料液:硬化剤=65:35(重量比)」に混合し、十分にかくはんしてください。
20kgセット(塗料液:硬化剤=13kg:7kg)
6時間(23)
水道水

塗装方法	はけ・ローラー	吹付
希釈率	0~5%	0~5%
使用量	0.20kg/m ² /回	0.24kg/m ² /回
膜厚(ドライ)	60μm	60μm
膜厚(ウェット)	150μm/回	150μm/回

- ・上記各数値は、施工基準書に準拠したものとなっており、被塗物の形状や気象条件等で各数値は増減することがあります。施工基準書に従って塗装してください。

エアレス条件:
乾燥時間:

- ・一次圧0.4~0.5MPa 二次圧12MPa以上 チップNo.163-617、619など

	5	23	30
指触乾燥	2時間	1時間	30分
半硬化乾燥	4時間	3時間	2時間
塗り重ね乾燥	1日以上10日以内	1日以上10日以内	1日以上7日以内

- ・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。
- ・塗り重ね乾燥時間は、施工基準書に定められた数値となっております。気象条件や被塗物の状態によって、その値に変動がありますので、塗膜状態を確認してから塗り重ねをするようにしてください。

注 意 事 項

- ・被塗物が結露などで濡れている場合は塗装を避けるか、十分水分を除去してから塗装を実施してください。
 - ・ご使用前に充分かくはんしてください。
 - ・開缶後は皮張りがしやすいため、表面にうすく希釈剤を張り、ふたをしておくと、皮張りを遅くすることができます。
 - ・水による希釈割合は、必ず5%以下としてください。希釈しすぎると割れたり膨れやすくなります。
 - ・塗装する時、まず希釈なしで塗装して下さい。粘度が高く、塗装しにくい時は、希釈剤を用いて希釈して下さい。
 - ・塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上、また換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
 - ・塗装終了後、4時間以内に気温が5℃以下に下がる事が想定される場合、塗装を避けてください。
 - ・この塗料は増粘しにくいいため、可使時間の管理を時刻で行ってください。可使時間を過ぎた塗料は使用しないでください。
 - ・外部の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
 - ・飛散した時は、速やかに希釈剤などを使って拭き取ってください。
 - ・水性で2液硬化反応形のため、一般の刷毛は固まったり、ダメになりやすいので、できるだけ水性塗料反応硬化用刷毛（例えば、大塚刷毛製 水星など）をご使用下さい。
 - ・塗装後短期のうちに、降雨や結露など、水分の影響を受けると白化することがあり、このような白化面にそのまま塗り重ねると層間付着性が悪く、はく離するおそれがありますので、ペーパー掛け、シンナー拭きなどで白化した層を除去してください。
 - ・乾燥条件によっては塗膜に粘着を感じられることがあります時間がととに粘着感はありません。
 - ・一度に厚塗りすると、乾燥不良となり、種々の問題を起しますので、適正な膜厚で塗装してください。
 - ・反応硬化タイプですので、必ず、その日にハケ等の洗浄を終えてください。
 - ・洗い溶剤は基本的に水道水ですが、落ちにくいときは、温流水・せっけんで洗い、なおも落ちにくいときは、水気をきった後にラッカーシンナーをご使用ください。
 - ・新設亜鉛面・コンクリート・没水部への適用は避けてください。
 - ・中・上塗りには、水性塗料をご使用ください。
 - ・作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
 - ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品安全に関する詳細な内容は安全データシート（SDS）をご参照ください。

本書類の内容については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

本書類中の製品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。

Copyright (c) 2014 Nippon Paint Co., Ltd. All rights reserved. この書類に対する加筆、修正はご遠慮ください。